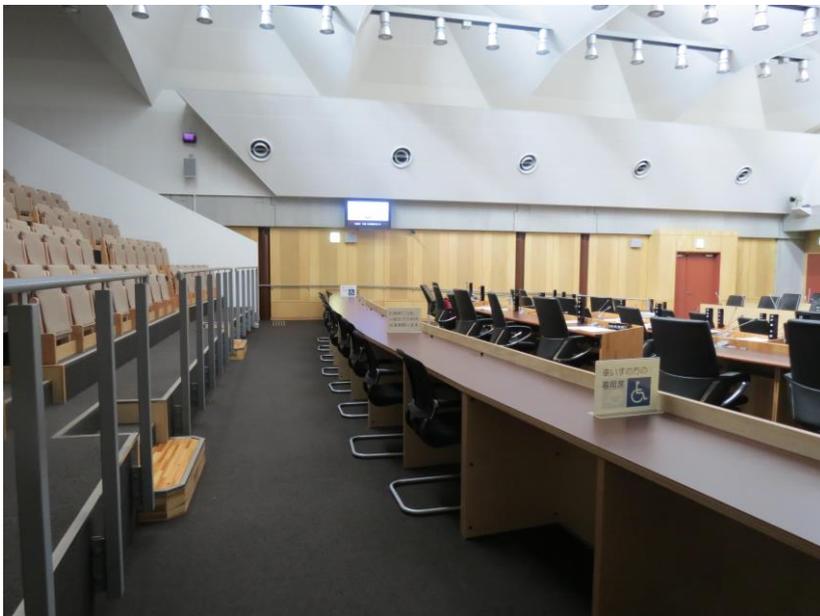


## 立川市議会の議場を見てきました！！

「わぁ近い！」

9月4日、最近建て替えられた市役所の一つ、立川市役所を訪ね、立川市議会本会議を傍聴した。最初に議場に入って思わず声が出そうになった。

まずは、写真を見てください！



最前列、議場と傍聴席の境は、記者や車椅子の人のための机がある。床の高さは同じ。一般傍聴席は 通路を隔ててパイプの手すりですり上げられ、階段状に設置されている。議場全体が見渡せるにも関わらず、議場両サイド前方に、大き目のモニターが設置されている。

とにかく、議員の席と傍聴する市民の席が近い。

居眠り議員は勿論いない。離席議員も当然いない。パソコンを打っている議員は言わずもがな…。理事者の答弁に対して、他の会派の人と小さな声で意見を交わしたり、同じ会派の人が話をする光景もあるが、ごくごく自然。皆が発言者に集中し、聞いている様子。「もう少しいい答弁を引き出したい！うーむ！残念！」といった議員の息づかいが感じられる。

一方、傍聴席から議員の姿が見えず、通路からのぞき込むと、居眠り、離席、パソコンでの作業中…といった議員の姿に、思わず眉をひそめる町田市議会の現状。旧庁舎時代は議員の姿が見えたのに、今は、議員が身近ではなく、市民から遠い存在に感じられる。立川市議会議場で感じた一体感は、残念ながら町田市議会議場では感じられない。

報酬審議会の答申を無視した議員の期末手当の実態や、傍聴席から見えない議場をはじめとする町田市議会の現状を目の当たりにすると、町田市の市議会議員と市民との距離は以前よりも遠くなった！と言わざるを得ない。

『議会改革都内ナンバー1』というなら、市民に開かれた議会を目指しているならば、尚更、ただちに現状を改善すべきだと思う。今の町田市議会の議場や議員の実態がこのままではいはずはない。傍聴に来る人は減り、ますます議員が市民から遠い存在になる前に…。

草の根

町田市政を考える会草の根ホームページ

<http://www.machida-kusanone.com/index.htm>